

**概要** 広く市民と情報を共有し、京都独自のきめ細かなまちづくりのしくみを整えながら、それぞれの地域において、市民との協働により、地域に根ざしたまちづくりを進める。

**総合評価**

B

地域協働型地区計画の策定数及び京都市景観・まちづくりセンターの相談件数は減少しているものの、地区計画の地区数は堅実に増加していることから、客観指標総合評価はやや良い傾向にあると言える。なお、主指標となっている地区計画については、個別の地区ごとに施策が進められるため、実績をあげても実感が改善されにくいと思われる。以上のことから、市民生活実感評価は「どちらとも言えない」という評価であるが、客観指標評価を重視し、総合的には、施策の目的はかなり達成されていると評価する。

**この施策の客観指標評価**

客観指標総合評価: b

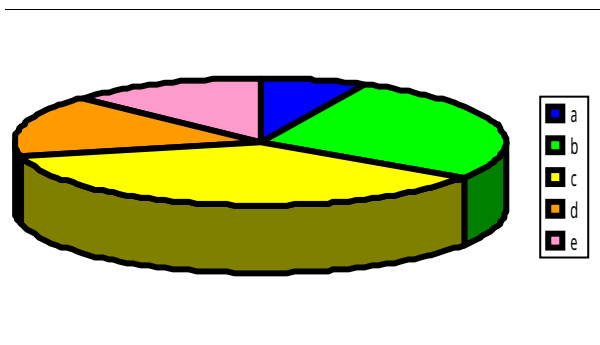
**指標名とその前年値, 現在値, 目標値, 達成度**

評価

地域協働型地区計画の策定数(計画)	2	1		c
地区計画の地区数(地区)	36	39		b
(準)京都市景観・まちづくりセンターにおけるまちづくりに関する相談件数(件)	571	427		c

**この施策に関する市民生活実感評価**

景観や住環境を守るための住民によるまちづくり活動が盛んになってきている。



**<参考>この施策実現のための主な事業**

**事業名**

- 都市計画運営経費
- 計画技術及び計画行政に関する国際ネットワークの確立に向けた基礎調査
- 特別用途地区の活用推進及びまちづくり条例の運用
- 地域地区見直し業務
- 民間活力によるパートナーシップ型まちづくりの推進に必要な事業
- まちづくり・市街地整備に係る民間等からの相談、指導等に関する業務
- 住民・開発事業者の事前手続きの検討
- 京都市景観・まちづくりセンター
- 都市計画関係地図印刷頒布
- 「京都市の都市計画」改訂業務